

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-06-00
基本事業：	01	学習ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	生涯学習講座の充足度 ホームページアクセス件数 学習情報の利用者割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
60歳以上の市民		60歳以上の市民を対象に、生涯を通して楽しめる生きがいを見つけるため、学習の場を提供する。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		対象：60歳以上の市民（定員：120人） 場所：生涯学習センター 日程：5月～2月、原則第1・3火曜日（最大受講期間は、4年間） 受講料：無料（教材費及び館外研修費等は、自己負担）				
高年齢者が生涯を通したい生きがいを見つけるための学習の場を提供し、それぞれの豊かな経験を生かした知識と技術で社会参加（ボランティア）を実践する。		【内容】 教養講座：教養を高めるための講座等 専門講座：郷土史、合唱、絵画等から選択 クラブ活動：ボランティア実践のための技術修得の学習 その他：スポーツを通じた交流会、館外研修、世代間交流「夏休み工作教室」等				

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
受講者数	人	70	78	100	100			100
受講修了者のうち地域等で活動している人の割合	%	100	100	100	100			80

5. コスト								
事業費	計	千円	717	730	844	844		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	717	730	844	844			
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費	千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,517	1,539	1,651	844			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	受講者数は、やや減少の傾向ですが、受講生の中から企画・運営ができる人材が育ってきており、地域を担っていく人材を育成する事業として、今後も継続していきます。 また、受講修了者のうち、地域の高年クラブに所属するなど各地域において活動を継続している修了生については、自ら実施案を作成するなど更なる成長が見受けられ、修了者の活動についてもアドバイス等指導・助言を行っていきます。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり
成果向上余地	大きい		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	
今後の高齢社会に向けて、高齢者が豊かな経験を生かして、社会参加を実践するとともに、受講生相互の親睦を深める学習の場を提供するため、生涯学習センター開館の平成13年度から事業を開始した。	
備考・特記事項 or 進行管理欄	